

2014年 経済的事由による 手遅れ死亡事例調査概要報告

2015年4月22日(水)

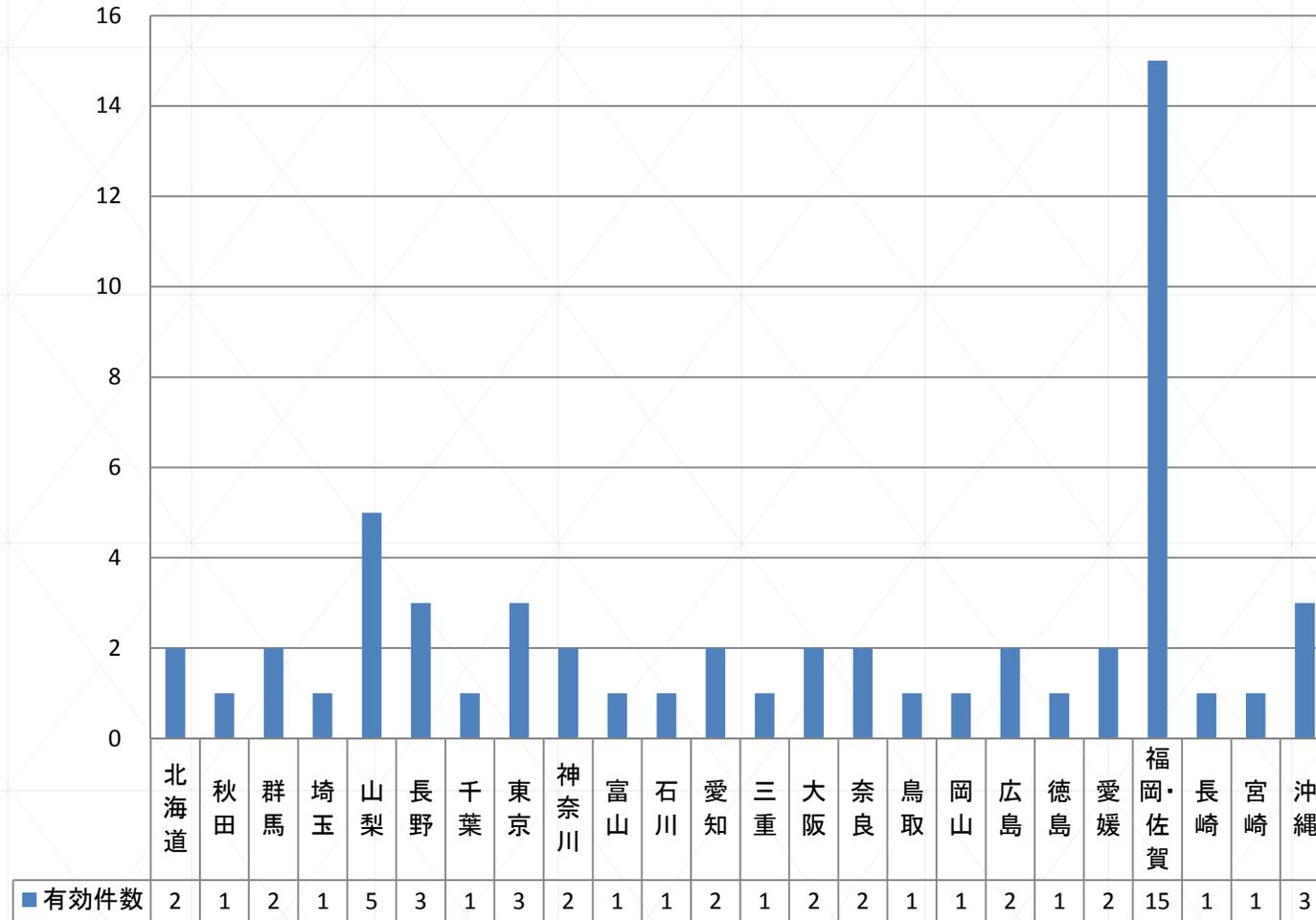
全日本民主医療機関連合会

問合せ TEL 03-5842-6451 代表 国民運動部 担当 中岡・山本

調査概要

- 調査期間 : 2014年1月1日～12月31日
 - 調査対象 :
全日本民医連加盟事業所の患者、利用者のうち
 - ①国保税(料)、その他保険料滞納などにより、無保険もしくは資格証明書、短期保険証発行により病状が悪化し死亡に至ったと考えられる事例
 - ②正規保険証を保持しながらも、経済的事由により受診が遅れ死亡に至ったと考えられる事例
 - 調査方法 : 各事業所担当者から調査票提出
-

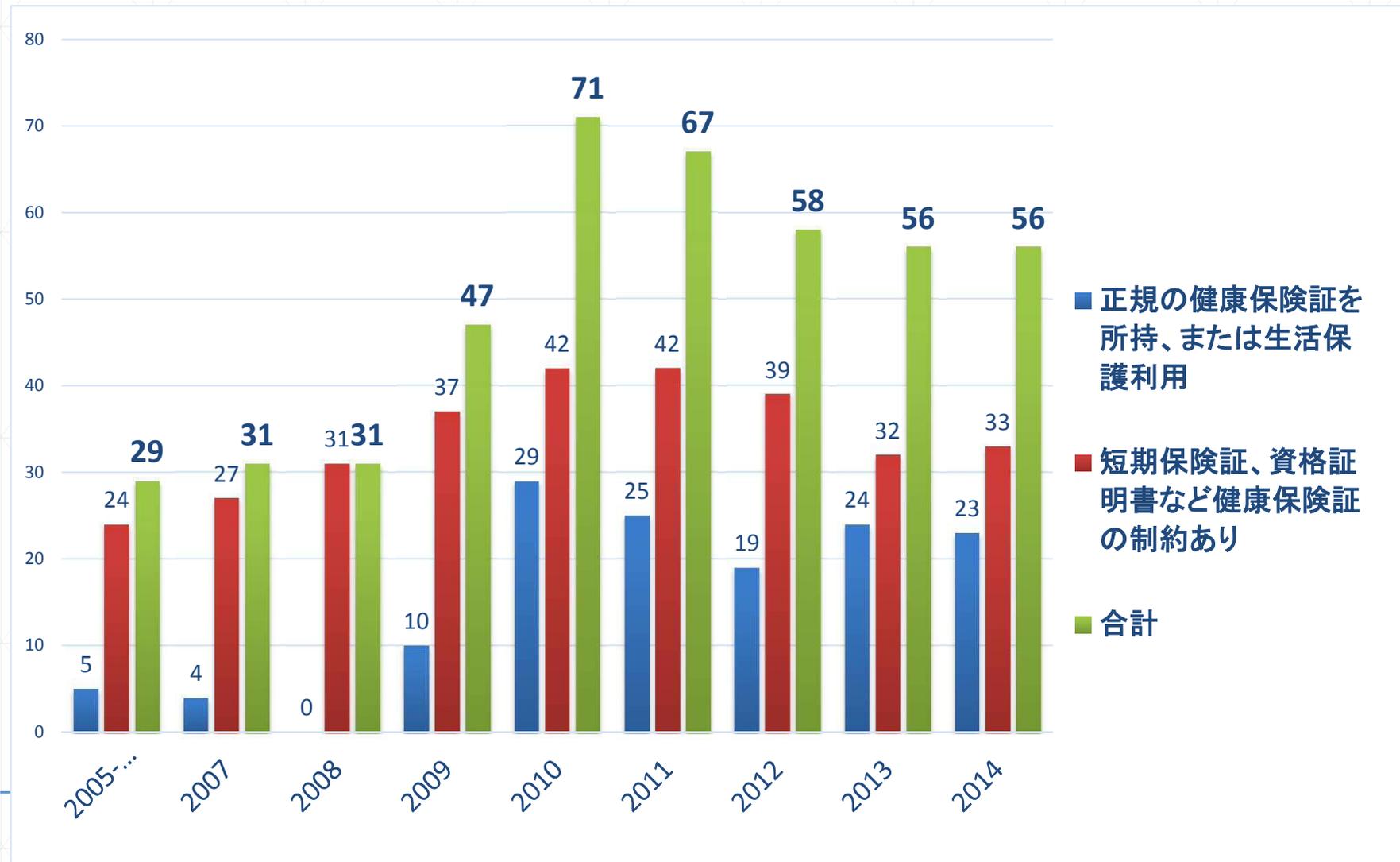
都道府県別事例数



24都道府県連

56事例

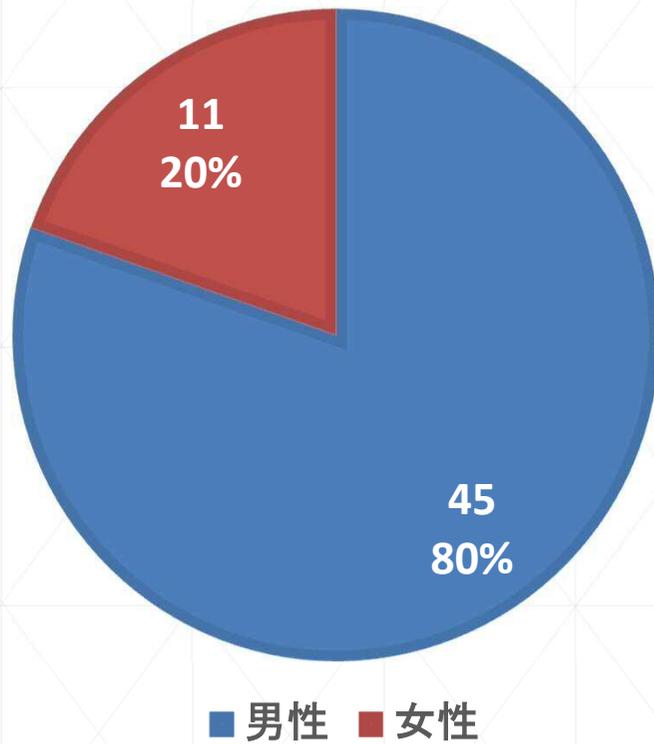
事例数の経年的推移



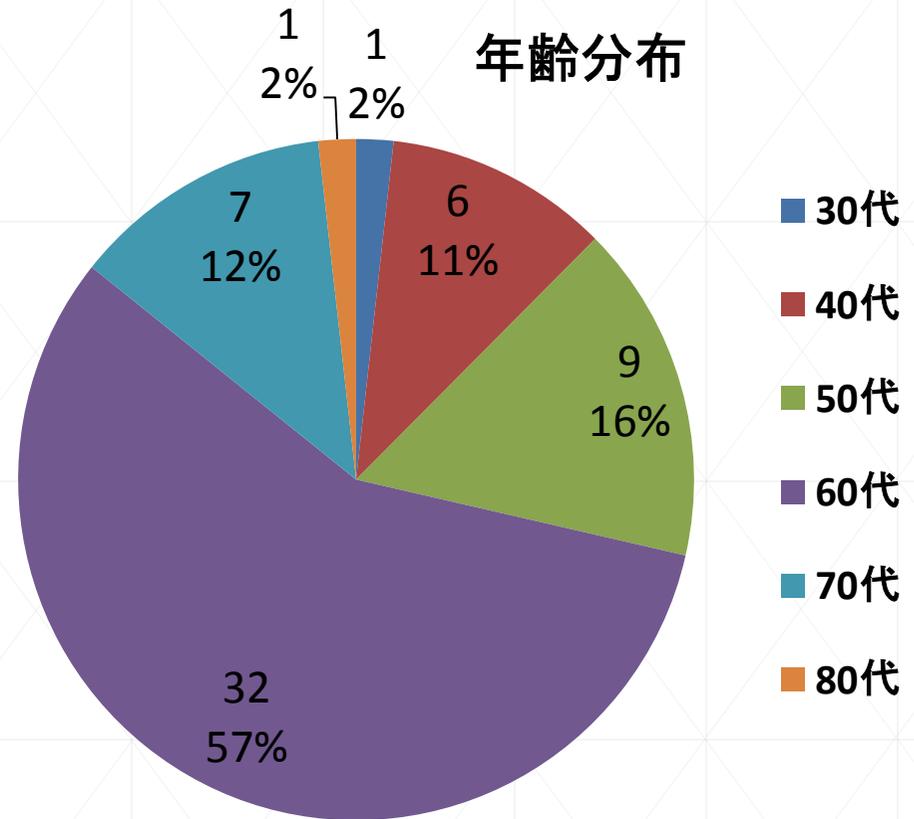
性別・年齢分布

男性80%、70歳未満が76%、65歳未満の稼働年齢が55%を占めた

性別

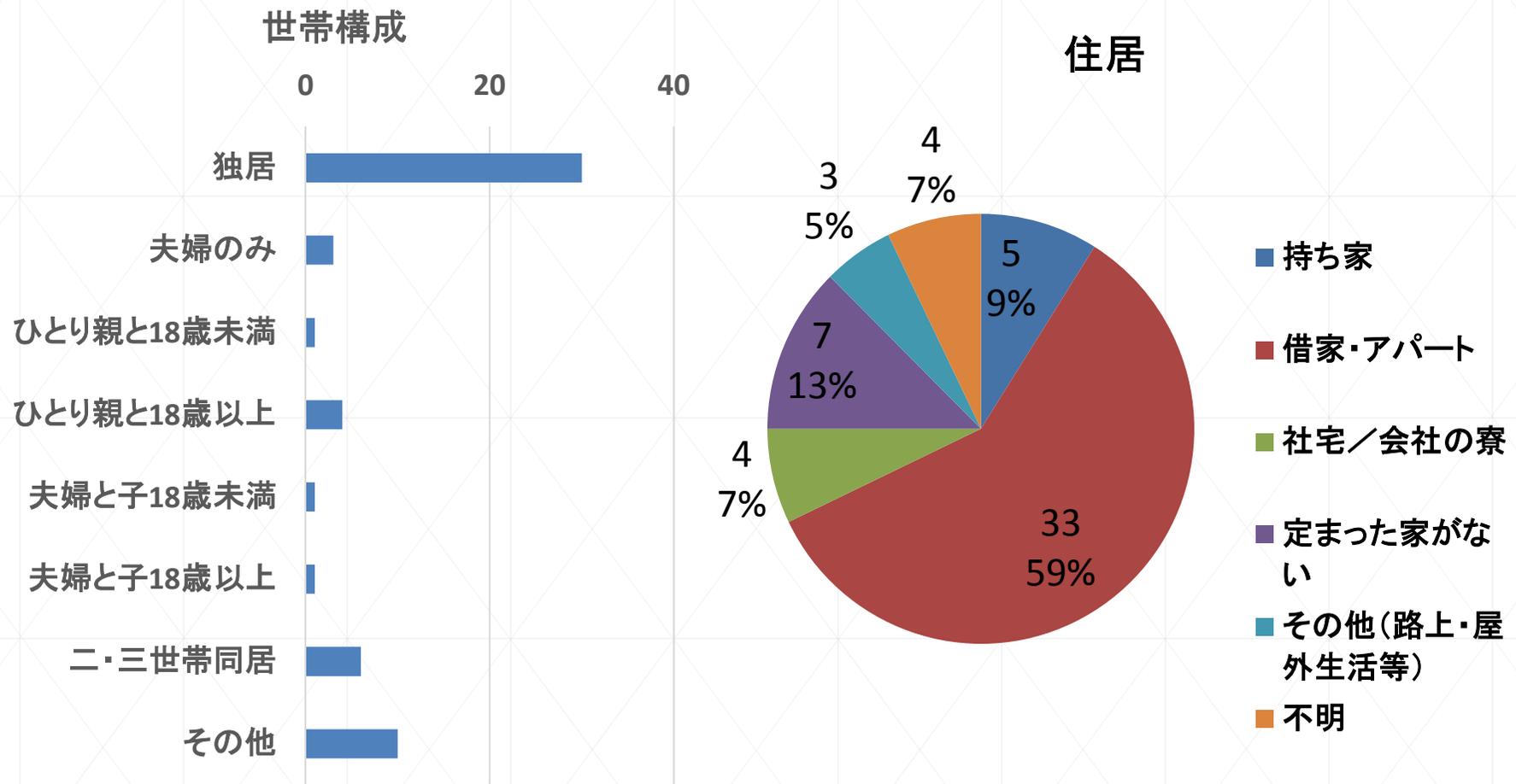


年齢分布



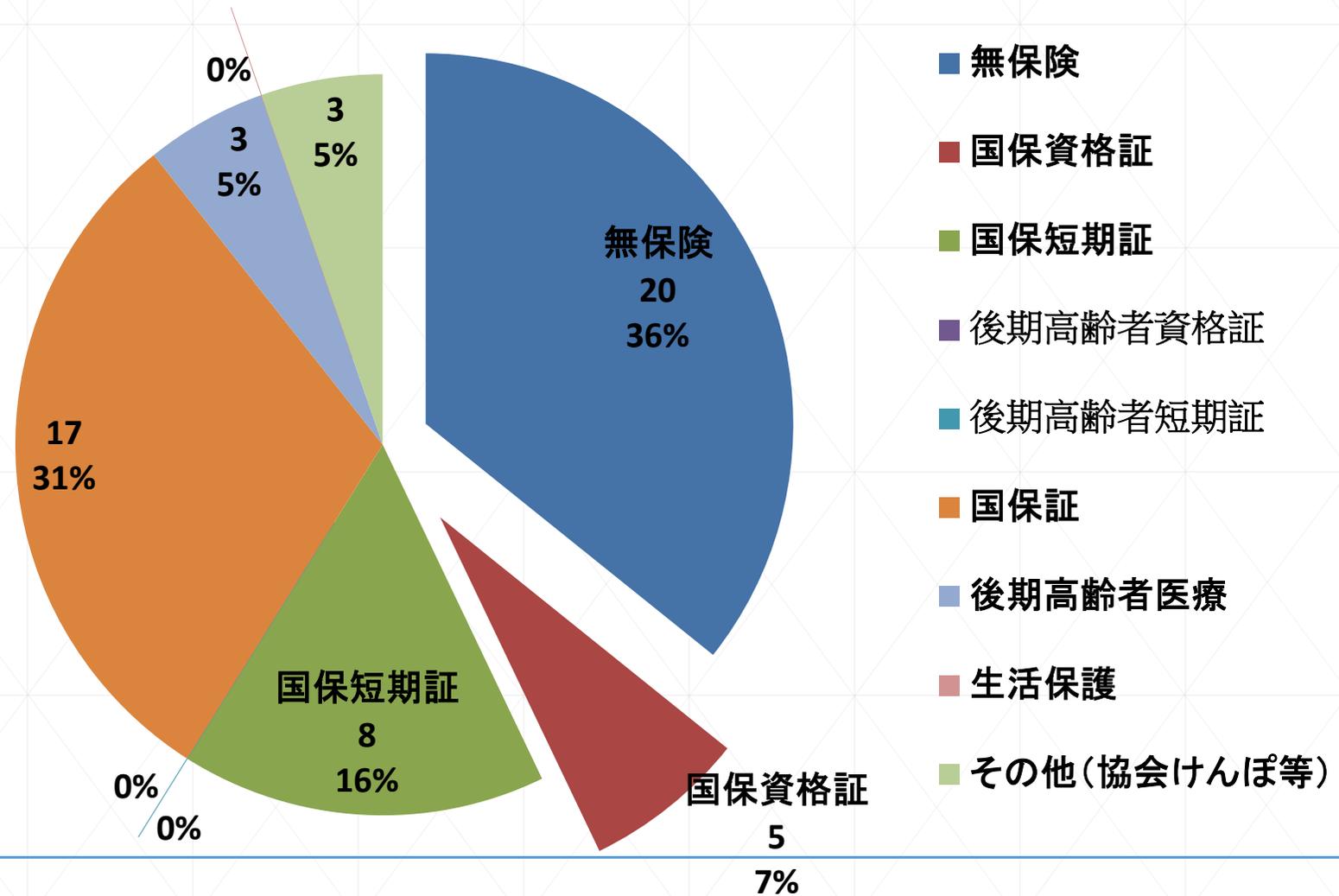
世帯構成と住居

独居が30件で50%を超え、社会的孤立を生みやすい
借家・アパートが6割近くを占め、定まった家がない、路上・屋外生活者も18%



保険種別の特徴

無保険・国保資格証が43%、短期証を含むと59%

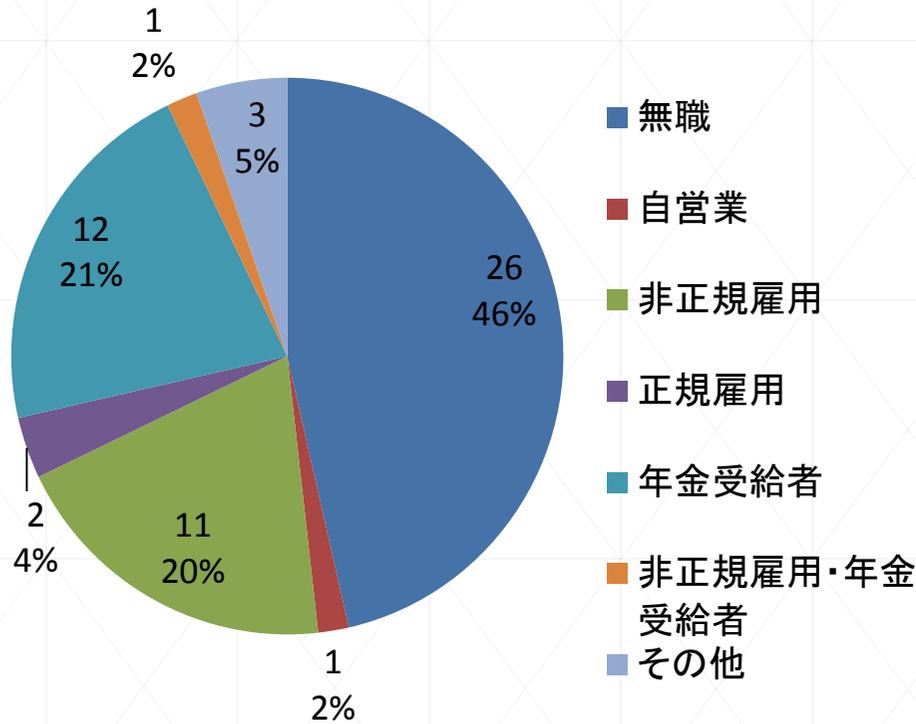


雇用形態

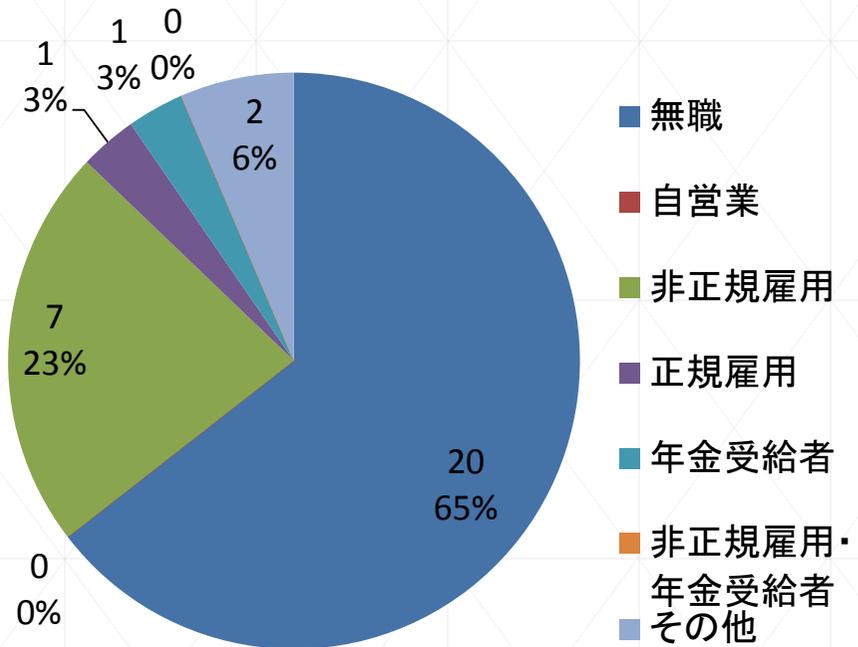
無職が46%、収入が不安定な自営業や非正規雇用をあわせると68%

稼働年齢層の65歳未満では無職が65%、非正規雇用をあわせると88%

雇用形態

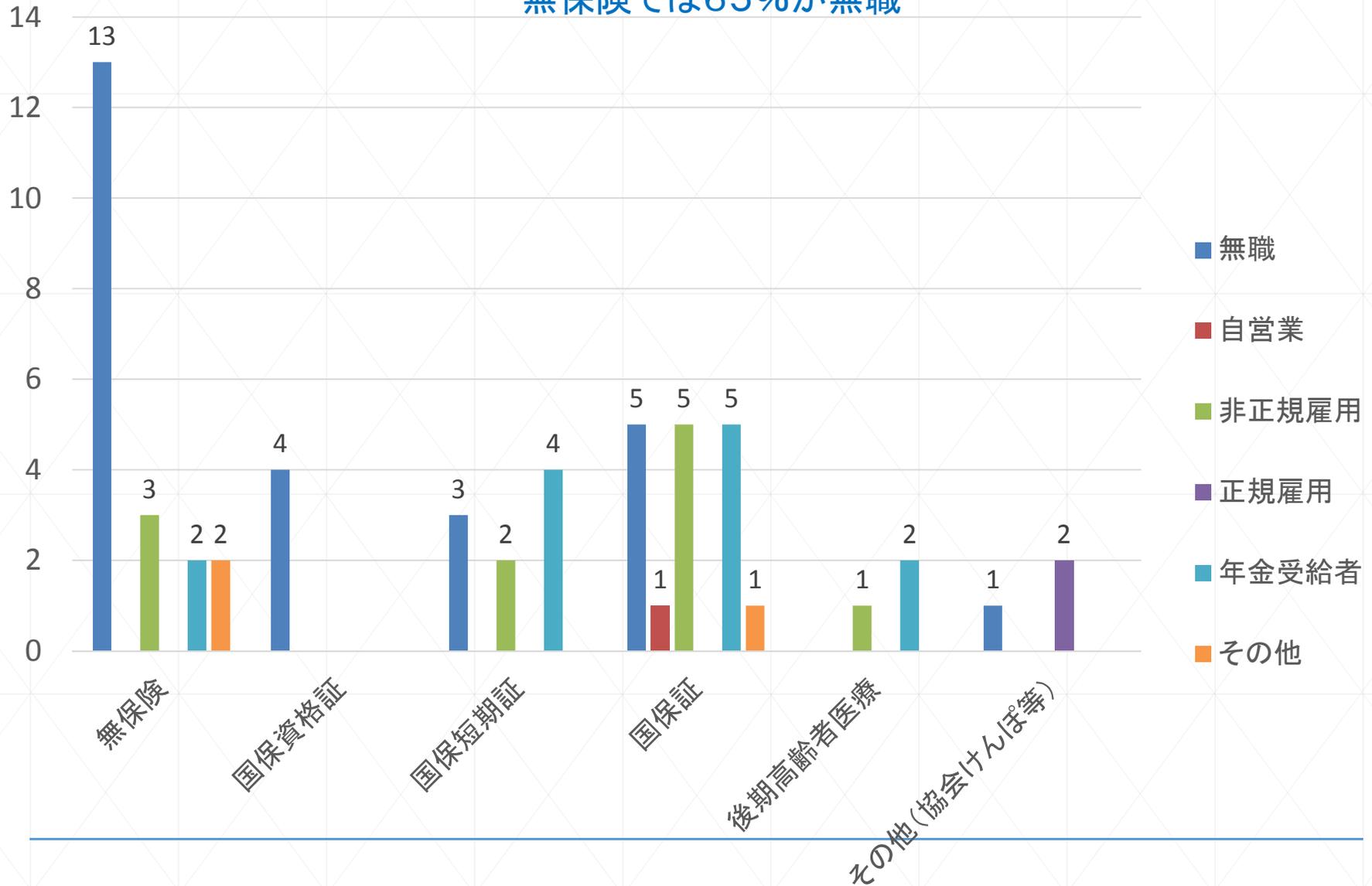


65才未満の雇用形態



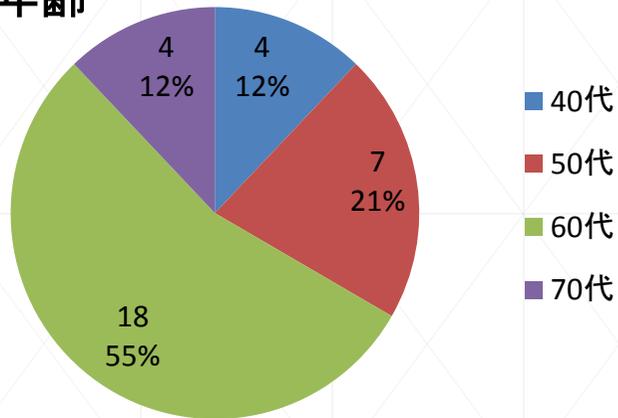
保険種別と雇用形態

無保険では65%が無職



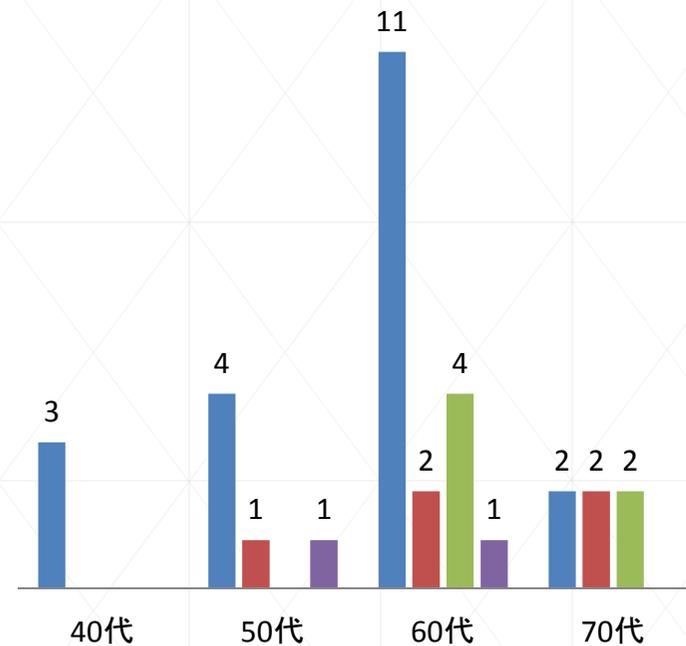
無保険・資格証・短期証(33事例) の年齢と雇用形態

年齢

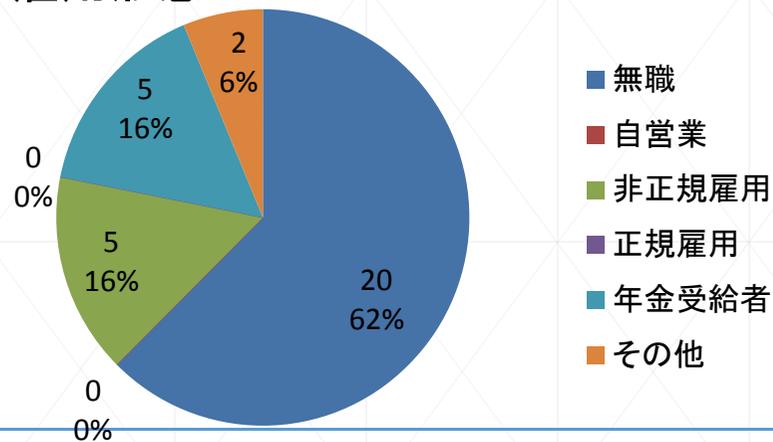


無保険・資格証・短期証の
年齢と雇用

■ 無職 ■ 非正規雇用 ■ 年金受給者 ■ その他

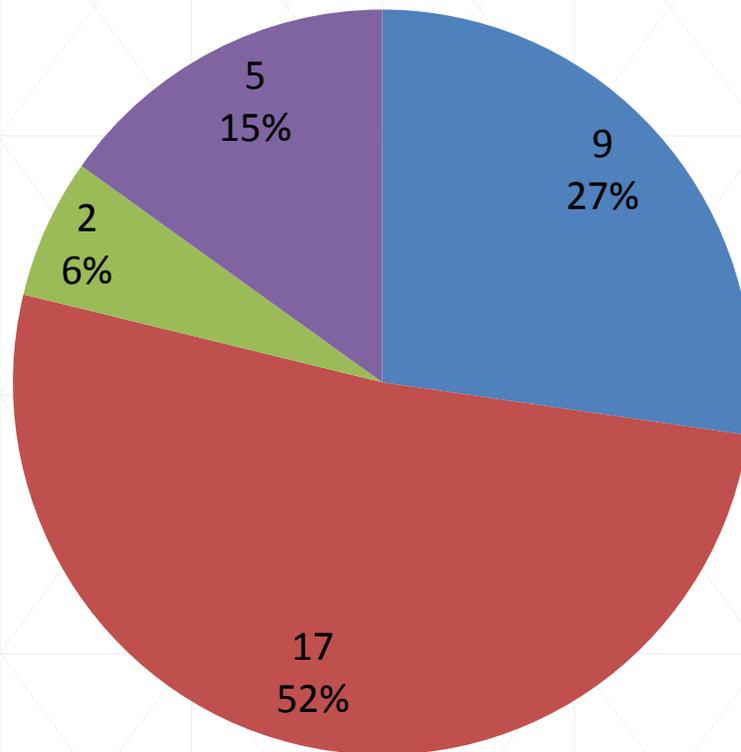


雇用形態



無保険・資格証・短期証となった経緯 (33事例)

79%が高すぎる保険料のために無保険に



- 保険料が高すぎるなどで、退職、失業後に国保等手続きをしなかった
- 国保料滞納で資格証明書となり、留め置き等のため事実上未交付
- 転居手続き等ができず国保未交付
- 不明

無保険で手遅れとなった事例

社会保険離脱後、国保未加入

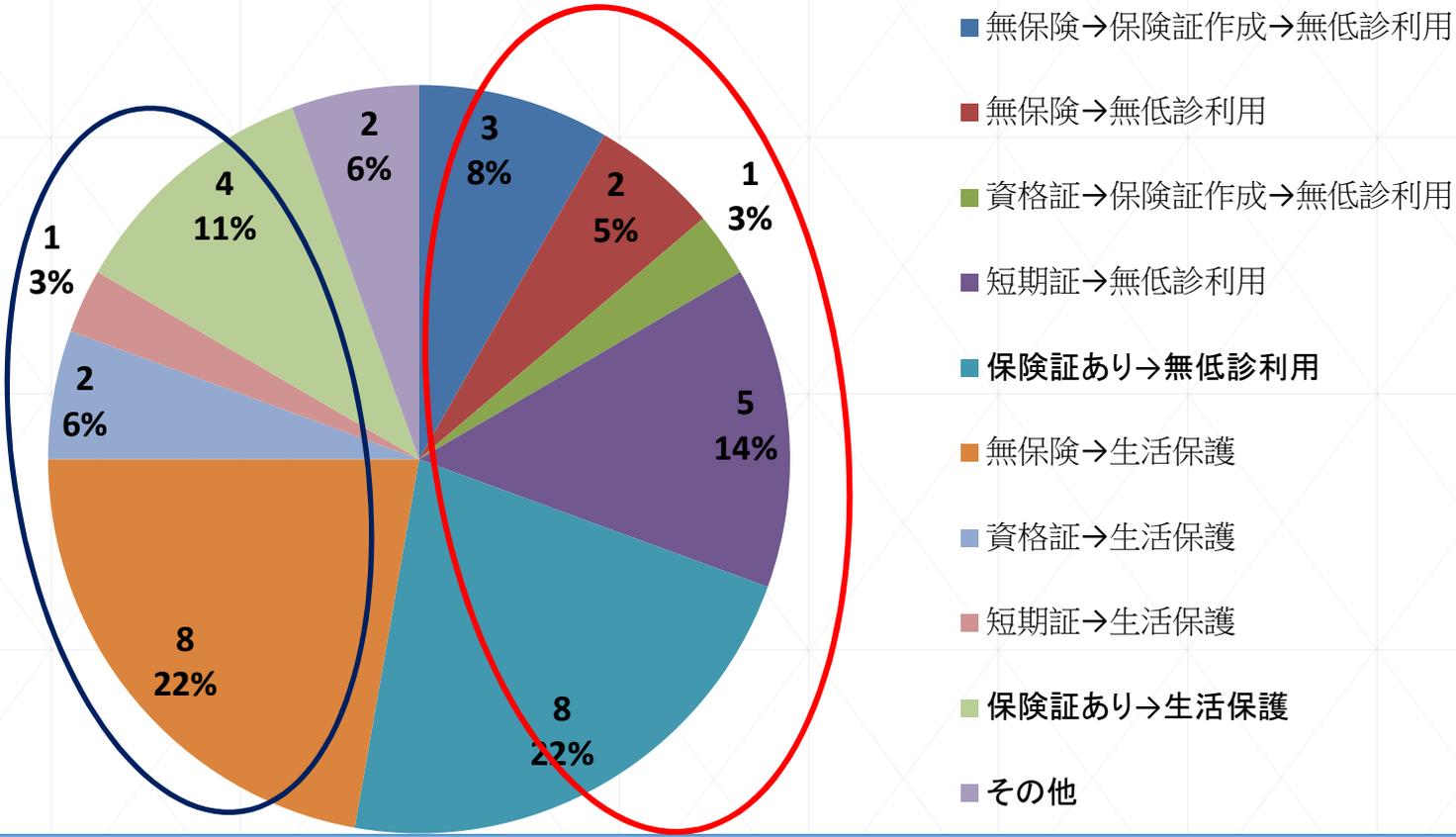
- 40代男性
- 会社退職で社会保険離脱後、経済的余裕がなく国保未加入。母親の年金15万4千円で生活。具合が悪くなり、そろそろ受診をしなければと思っていた矢先に、急に悪化。救急搬送で入院。重症の心不全。8日後に大動脈解離の疑いで死亡。

経済的困難から保険料滞納、国保証が窓口留め置き

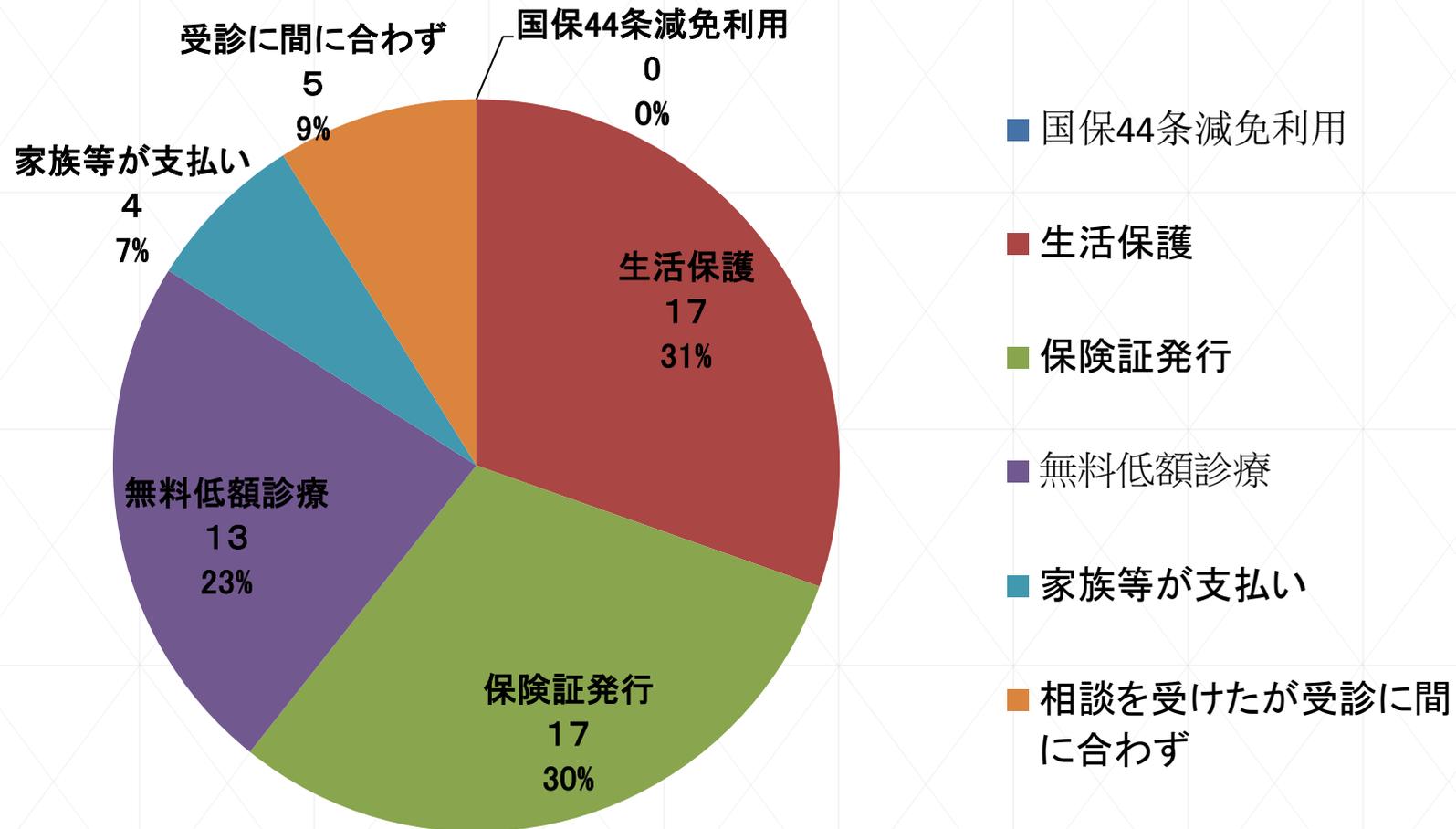
- 60代女性
- 夫死別後、経済的に困窮し保険証は窓口留め置き。数か月前から食欲なく体重減少。給料入れれば短期証発行予定との話だったが保険証交付されず未受診。3ヶ月後意識のない状態で来院。市の収納対策室は「滞納額が大きく分納の約束も守ってもらえなかった」と。入院翌日、直腸がん末期で死亡。

無料低額診療や生活保護利用の事例(36事例)

19事例が無料低額診療事業を利用、15事例は生活保護を取得



最終的な医療費の支払い(全56事例)



経済的理由で受診の遅れた事例

経済的困難で通院を自己中断した身寄りのない患者

- 60代女性。非正規雇用で独居。国保短期証
- 10年前に甲状腺腫瘍で通院。経済的問題から、自己中断していた。2014年9月より体動困難になり救急入院となった。夫とは離婚、息子はすでに他界して独居。入院時は次兄が付き添う。パートで仕出しなどの仕事をしてきたが、非正規で十分な所得ではなかった。両側甲状腺がんで、入院後8日で亡くなった。

借金返済で無保険。やっと国保加入するも手遅れに

- 60代男性。妻子あり。
- 50代で脱サラして配送業を起すも、車両購入、経費など出費の方が多く、借金返済に追われた。60才以降、本人と妻の年金収入、息子の収入で生活。息子も手取り月15万程度で、生活するのがやっとだった。借金返済のため保険料が払えず、7年間無保険状態。借金返済、国保料完納できてやっと保険証を手にするも、十二指腸がんで治療開始後2ヶ月後で死亡。

生保行政のあり方による死亡事例

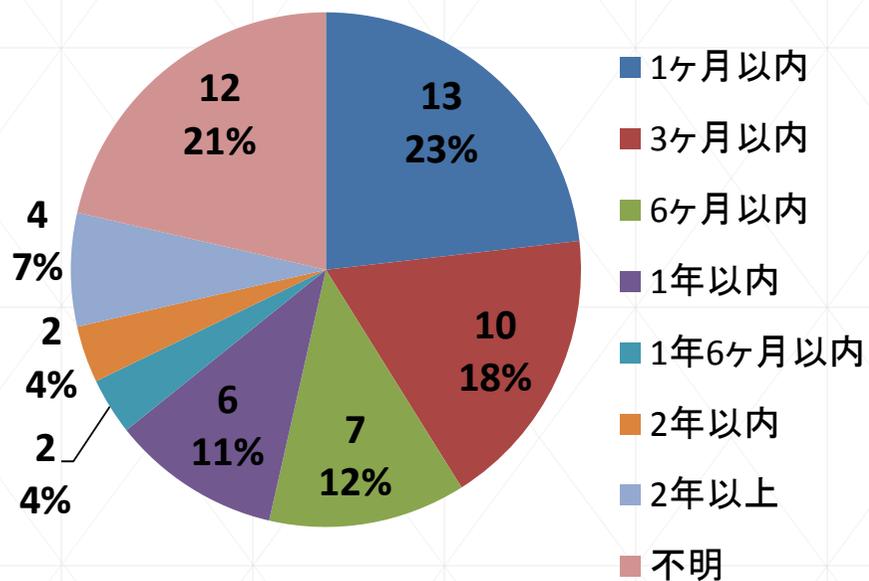
生活保護廃止の翌月に発症、
就労困難で収入が減り受診が
遅れた肺がん患者

- 40代男性。独居
- 非正規雇用で月13～20日働く。生保受給しながら、ハローワークで警備の仕事を見つけたが、工事現場などが多く雨天はキャンセルで不安定収入。しかし収入が生保基準を上回り生保廃止。さらに病気発症で就労回数減り、医療費の心配から受診控え。入院後半月足らずで死亡。

生活保護受給を断られ、受診
が遅れたがん患者

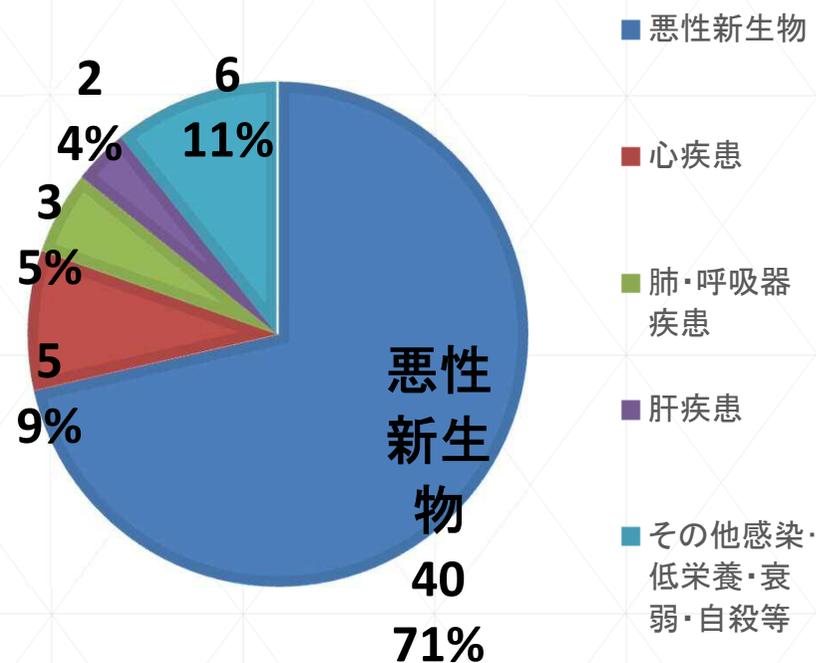
- 60代男性。年金とシルバー人材センターの仕事
- 母親と2人暮らし。くも膜下血腫で入院し、退院後生活保護の相談に行ったが、仕事と車所有を理由に断られる。年金だけでは生活できず、受診するお金もなく無理してしごとを継続。いよいよ入院で、民生委員、地域包括介入し生保受給するも、1ヶ月後死亡。

自覚症状出現、健診での異常指摘等から受診までの期間



死亡原因

がんが7割を占める



正規の保険証があっても、経済的な理由で受診が遅れた事例

肺がんの診断受けるも借金等、経済的理由で中断

- 60代男性。独居。健康保険加入。
- 月20日程度の非正規雇用。2012年10月に肺がんの診断受けるもカード会社、銀行などに300~400万借金あり、仕事しながら生活を継続。2013年9月頃より、1~2回/月呼吸困難あるも我慢。2014年4月、苦痛で自制困難となり急性期病院入院後、緩和ケア目的で転院。経済的問題を誰にも相談できず病院も受診できなかったと。8月、永眠。

2年前より乳がん自覚するも、医療費支払い不安で未受診

- 60代女性。国保。娘、孫4人と同居
- 2年前より乳がんを自覚。しかし医療費支払い不安で未受診。収入は月に本人の年金約3万円、娘のパート6万円、児童手当4万円。娘婿は仕事で実家におり、仕送りは20万程度あるが、仕事が不安定で固定額でない。貯金なし、車のローン月5万円あり。1ヶ月前より出血するようになり、弟夫妻、娘に連れられ受診。入院1ヶ月で亡くなられた。

調査を終えて

- 「国民皆保険」というが事実上、無保険者が存在

- * 保険料が払えないために窓口留め置き
- * 社会保険から国民健康保険へ移行できず
 - 背景に非正規雇用、リストラの増大、不十分な年金
 - もともと自営業や退職者など経済的基盤の弱い層が多く加入
 - する国民健康保険の根本的な制度上の問題

- 保険証があっても手遅れになる

- * 高い窓口負担
- * 特に高額ながん治療の負担

- 病気や生活困難に陥った時、だれが手をさしのべるのか

- * 独居、親類縁者や地域と疎遠
 - * 保険料未納では行政も相談窓口にならない
 - * 生活保護は水際作戦、自己責任論、本人も権利と思えない
-

調査をふまえての提言

- 高すぎる国保料引き下げ
- 窓口負担の軽減
- 無料低額診療の充実
- 生活保護の充実
- 自治体職員の体制確保と相談窓口
- 今国会提出の医療保険制度改革法案は廃案に

国保の都道府県単位化、入院時食事代の負担増、大病院受診時の定額負担は一層の経済的困難による手遅れを招きかねない。

